

第 44 回協議会・第 50 回幹事会の議事要旨

沖縄県公共交通活性化推進協議会

令和 8 年 7 月 2 1 日（火）

1. 第44回協議会 議事要旨

日時：令和8年3月25日（水）10:00～12:00

場所：中小企業振興会館ホール

議題

(1) 令和8年度事業計画（案）及び予算（案）について

発言者	主な指摘・意見	回答
池田会長	● 内容について意見はあるか。	(一同) ● 異議なし。

報告

(1) 第43回協議会・第49回幹事会の議事要旨について

(2) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について

(3) バス・モノレール半額実証事業の取組について

(4) 各種広報等に関する取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球バス 交通 小川委員	● 協力型バスレーンの実証実験には、全面的に協力させていただきたい。実証実験は、多くの方々の協力を得て実施していく大プロジェクトと思っているが、経済界やレンタカー業界への協力依頼はどのように考えているのか伺いたい。特に経済界は多くの団体があるので、幅広く協力をお願いしていただきたい。 ● 西普天間琉大病院への路線バスの利用状況は、病院利用者は比較的に見られるが、医学部関係者の利用が少ないように感じている。このあたりに関して、分析された情報等あれば教えていただきたい。	(事務局) ● レンタカー協会とも意見交換を実施しており、例えば協会に加盟している事業者以外に対しても、協会 HP で周知してはどうかとの意見をいただいている。経済界への周知は、県商工会議所連合会や SDGs パートナー企業等との連携を想定している。引き続き経済界には協力をお願いしていきたい。 ● てだこ浦西駅交通結節機能強化に関する取組を実施している他、琉球大学、宜野湾市と連携し病院発着の路線バス利用を促すチラシ、ポスターを現在調整している。引き続き関係機関と連携しながら路線バス利用促進に取り組んでいきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球大学 神谷委員	● 琉大病院への路線バスは、294番の始発では、従業員は出勤に間に合わない状況にある。また、大学の授業も18時くらいに終わると路線バスがもう運行されていない状況にある。朝の運行については、来年度の検討になると聞いており、夕方に関してもお願いしている状況である。 ● 千原と西普天間のキャンパスの駐車場有料化について、月3千円、5千円といった協力の形で検討を進めており、これを財源として大学では公共交通利用コスト低減や自転車駐輪場の整備等に活用することを考えている。今年度はノーマイカーウィークの取組を実施したが、次年度はこれを月で行う予定と聞いており、道路の交通量調査とも連携していきたいので、道路側で調査される場合は、早めに日程等調整させていただきたい。	(琉球バス交通 小川委員) ● 琉大病院へのバス路線については、病院や大学の開始時間等も踏まえつつ、運転手が不足している中で何ができるか前向きに検討していきたい。 (事務局) ● 交通量調査については、沖縄総合事務局や琉球大学と連携して取り組んでいきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
琉球大学 神谷委員	- 観光客は 65%がレンタカー利用されているようであるが、残りの 35%の方は何処にどのような旅行をしているのか。そういった観光を踏まえたバス路線のあり方も重要であり、そのためにもまずは現状がどうなっているかを把握しておく必要があると考えている。 - 半額実証事業のアンケートについて、利用者居住地のバスサービスレベルとの関係での分析も次年度検討していただければと思う。 - 胡屋バスタが整備されるまでの間の対応も重要である。現状、てだこ浦西駅や空港の駐車場利用状況を踏まえると、例えば大学の駐車場が有料化されて、高速バスへP & R利用してもらおうといったような郊外部での施策もあるかもしれない。今後検討いただければと思う。	(事務局) - 観光客の交通データの把握についても課題として認識しており、来年度の組織改編も踏まえ検討していきたい。 - 利用者居住地のサービスレベルとの関係についても、追加調査を行っているところであり、引き続き検討していきたい。 - P & R等、郊外部での施策については、令和元年度にイオンモール沖縄ライカムでの「パーク&ライド」実証実験が事例としてあり、胡屋バスタが整備されるまでの施策(P & R等)についても、来年度の組織改編も踏まえ検討していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
オフィス遊 幸地委員	- バスの乗降方法の変更に関する取組状況について教えて欲しい。 - 路線バスの運賃について、半額実証事業を実施しているが、運賃無料に向けて何か方法はないのか教えて欲しい。 - バス停での待合環境は、まだまだ海外に比べて良くないと考えているので、しっかり整備を進めていただきたい。 - 路線バスの利用促進に向け、通勤通学者にもっとPRが必要ではないか。ラジオ以外にも様々な新聞媒体を活用するなどして県民に広く周知することが重要と考えている。また、多くの方の意見も聞くなど県民参加型の取組も重要だと感じている - 那覇で渋滞が著しいため、例えば県庁を移転させるなど土地利用面から考えていくことも重要と考えている。	(事務局) - 乗降方法に関しては、バス事業者勉強会の中で議論を進めている。また、連節バスについても検討する予定であり、その導入のタイミングも踏まえながら、乗降方法の変更に向けた取組を進めていきたい。 - 路線バス無料化や半額の実証実験を実施してきたが、その効果検証も踏まえながら、公共交通利用促進に向けた検討を進めていきたい。 - バス停上屋の整備は、これまで基幹バス沿線などで進めてきたが、道路幅員の制約等もある中、どのように整備していけるか引き続き検討していきたい。 - バスの乗り方教室は、県主催以外にも、バス事業者や市町村で実施しているものもある。これらの横展開なども含めて、広く周知できるよう検討していきたい。また、県や沖縄総合事務局でも、各種事業でワークショップを開催しており、引き続き地域住民の意見を取り入れていきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
バリアフリーネットワーク 親川委員	● 連節バスは乗降口が複数あるが、乗降方法に関してはバリアフリー関連団体の方の意見も聞いていただきたい。 ● 半額実証実験に関しては、高齢者（運転免許返納者）や障がい者は通常でも半額で利用できるのですが、もう少しお得感があるやり方があればと感じたところである。 ● 視覚障がい者は、移動を公共交通に頼るしかないので、盲学校に対するバスの乗り方教室に関しても力を入れていただきたい。	（事務局） ● バリアフリー関係団体等のご意見も聞いていきたい。 ● 障がい者割引や免許返納者割引を受けている場合は、割引後の運賃を半額で利用するできるが、次年度の実証事業におきましても、高齢者や障がい者の方に、メリットを感じていただけるよう検討していきたい。 ● 盲学校への乗り方教室は昨年度開催しているが、引き続き対応していきたい。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖総局開発建設部 岡本代理	● 普天間交差点は、右折車線を延伸したところである。現状を見る限りでは交通状況は大きく改善されていると聞いているが、今は卒業シーズンで送迎交通が減少している可能性もあるため、引き続き交通状況を見ていきたい。 ● 協力型バスレーンの実証実験は、簡単にはその効果が上手く出ない可能性もあると思っている。そこで、自動車交通がどの程度他道路に経路転換或いはバスに利用転換すれば、より定時性が確保されるのか、といったシミュレーションを検討してみてもどうかと考えている。例えば、西海岸道路が全て完成すればどの程度転換するとか、様々なTDM施策政策でどう効果が期待できるのかを検討してはどうかと考えている。 ● ロウワープラザの開発が進んでくるが、検討チーム等で予め色々な提案ができれば良い方向になるのではないかと考えている。例えば開発に伴って道路を1車線拡幅することができれば、一気にバス専用レーンを導入していくこともできるかもしれないので、関係者で協力して意見交換ができれば良いと思っている。	(事務局) ● これまで伊佐以北へのバス専用レーンを導入した場合のシミュレーションは実施しているが、周辺道路の整備等を踏まえた検討も進めていきたい。 ● ロウワープラザに関しては、県担当部署や沖縄市、北中城村をと事前に意見交換を行っており、今後はパートナー企業や関係機関と一緒に意見交換し、公共交通利用促進の取組を推進できればと考えている。

発言者	主な指摘・意見	回答
オフィス遊 幸地委員	レンタカーを利用する特に海外からの観光客は、バスレーンがどこの区間で何時に実施しているかを知っている人は少ないのではないか。バスレーンを知らせるアプリ等があればバスレーンへの誤進入が減らせるのではないか。	(事務局) 協力型バスレーン実証実験では、海外からの観光客には、観光部局と連携して WEB サイト等で周知する予定である。関連するアプリに関しては有無を整理した上で、それを展開していくことは考えられる。
池田会長	国道 58 号を中心とした基幹バスシステムという表現が資料に見られるが、国道 58 号は一部区間であり南北を貫く骨格にあたるので、名称は検討していただきたい。	(事務局) 表現について、検討させていただきたい。

以上

2. 第 50 回幹事会 議事要旨

日時：令和 8 年 7 月 13 日（月）14:00～16:00

場所：中小企業振興会館ホール

議題

(1) 沖縄県公共交通活性化推進協議会規約の改正について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(2) 令和 7 年度決算及び監査報告について

発言者	主な指摘・意見	回答
幹事長	内容について意見はあるか。	(一同) 異議なし。

(3) 協力型バスレーン実証実験について

発言者	主な指摘・意見	回答
東陽バス 比嘉幹事	協力型バスレーン実証実験の実施区間に、バスが片側 1 車線走行区間は除くとの記載があるが、具体的な区間を教えて欲しい。	(事務局) 牧港立体交差側道部や県道宜野湾北中城線の喜友名～伊佐間に並行する現道などを指している。
沖縄コンベンションビューロー 金城幹事	実証実験の広報の中で、多言語対応はポスター、チラシだけなのか、また地図で協力型バスレーン実施区間を説明するのか教えて欲しい。	(事務局) - 多言語対応は、ポスターやチラシ以外でも特設サイトでの対応を予定している。 - 地図に関しては、ポスターやチラシには掲載予定であるが、他の媒体でスペースが限られる場合は QR コードを記載して特設サイトで確認いただくことを予定している。

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄総合事務局 開発建設部 森山幹事	● 広報における歩道橋横断幕について、8月中旬から設置予定とあるが、占用手続き等で一定期間を要するので、調整を早めをお願いできればと思う。設置する具体的な日程が決まっていれば教えて欲しい。 ● 協力型バスレーンの対象は、路線バス以外の観光バスやスクールバスも対象になるのか教えて欲しい。	(事務局) ● 歩道橋への横断幕設置については、南部国道事務所と相談を始めているところ。具体的な日程が決まり次第早めにご連絡したい。 ● 協力型バスレーンの対象はバスレーンと同様であり、路線バスだけではなく、その他のバスも含まれる。
沖縄総合事務局 開発建設部 伊藝幹事	● 効果検証について、トラカンデータや ETC2.0 を道路管理者より取得とあるが、データを提供するのか、分析結果を提供するのか、調整状況について教えて欲しい。 ● 那覇から伊佐までのバスレーン実施区間について、協力型バスレーンはどのように実施するのか教えて欲しい。	(事務局) ● トラカンデータは、生データを、ETC2.0 は加工結果データを提供いただく方向でワーキングで調整させていただいているところである。 ● 既存バスレーン区間については、バスレーン時間内は従来通り規制のままとなり、それ以外の時間帯を協力型バスレーンとする予定である。
沖縄総合事務局 開発建設部 森山幹事	● 既存バスレーン区間における規制以外の時間帯が協力型バスレーンである旨の広報はどのように実施されるのか教えて欲しい。	(事務局) ● 既存バスレーン区間についての実施方法は、特設サイト等で広報する予定である。

報告

(1) 基幹バスシステムの導入に向けた取組について

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄県土木建築部 湧川幹事代理	• てだこ浦西駅から琉球大学病院までの実証事業について、路線バスの増便とあるが琉球大学病院向けの朝便以外に、てだこ浦西向けの便も増便する予定か教えて欲しい。	(事務局) • てだこ浦西向けの増便についても調整しているところである。
沖縄市 阿嘉幹事代理 (高江洲説明員)	• ロウワー・プラザの開発に伴う渋滞対策も重要な課題であり、公共交通利用促進を踏まえた拠点性の高いまちづくりを進めているところ。 • 先月、開発企業が決定し、今後跡地利用計画が具現化される想定であるが、基幹バスシステム導入の取組とも連携が必要と認識している。 • 開発は民間主体の組合施行となる予定であるが、本協議会とも連携を深めながら、地元自治体として取組を進めていきたい。 • 本協議会で取組まれてきた西普天間交通対策 WT の事例に倣ったロウワー・プラザのワーキング設置についても、本市で検討を進めているところである。	

発言者	主な指摘・意見	回答
沖縄県企画部 兼島幹事	● ローワー・プラザに関して、公共交通利用促進を踏まえるとのことであるが、交通結節点や交通結節機能について予定しているのか教えて欲しい。	(沖縄市) ● 当該地域は、国道以外にも沖縄自動車道や東西を結ぶ県道との連携も踏まえた交通結節機能の検討も進めているところである。

以上